

## 平成22年4月分電力需給状況

### 需要の概要

平成22年4月の販売電力量は、23億5千3百万kWh時、前年比 109.1%となった。

#### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、3月後半から4月にかけての気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比 112.0%となった。

電灯等の低圧需要の4月分検針期間は、前月(3月)の検針日から当月(4月)の検針日の前日までの1か月間であるため、3月における気温影響の一部は、4月分に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、4月の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、前年比 102.1%となった。

産業用の「大口電力」は、前年が大幅なマイナスであったことからの反動などから、前年比 112.7%となった。

### 需要実績

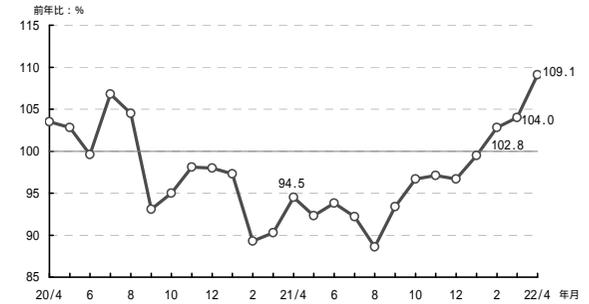
		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電灯	881	112.0
	電力	158	107.1
	計	1,039	111.2
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	457	102.1
	産業用電力	857	110.5
	うち大口電力	(680)	(112.7)
	計	1,314	107.5
販売電力量計		2,353	109.1
融 通		246	265.4

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計

### 大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
電力量		前年比		
		22/4月	22/3月	22/2月
繊維	29	129.9	112.0	80.2
紙・パルプ	156	122.8	110.5	97.2
化学	101	119.6	135.4	122.0
鉄鋼	72	102.8	120.2	109.2
機械	141	113.4	114.9	110.5
その他	181	103.2	103.2	104.6
合計	680	112.7	113.5	105.7

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	22/3月				22/4月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実績	10.3	11.1	9.0	10.1	13.5	13.3	14.4
平年差	2.4	1.9	1.6	0.8	0.8	1.3	1.9	0.9
前年差	1.0	0.5	1.5	0.3	0.3	4.6	1.2	1.9

### 供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 225.3%となった。
- 水力は、豊水の影響により、前年比 262.0%となった。
- 火力は、原子力、水力の増加などにより、前年比 48.2%となった。

### 供給実績

		(百万kWh時、%)		備考
		電力量	前年比	
原子力	(55)	1,492	225.3	出水率 143.6% (21年4月出水率 52.1%)
水力	(18)	482	262.0	
火力	(26)	710	48.2	
新エネ	(1)	35	130.3	
発電電計	(100)	2,719	115.9	
その他		5		
供給計		2,713	115.6	

注1. 新エネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2.( )内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳島	高知	愛媛	香川			
販売電力量計	(107.5)	518	(105.9)	379	(113.2)	846	(107.1)	610

注.( )内は前年比